

日本教育行政学会 第 58 回大会プログラム

The JEAS 58th Annual Conference
Oct. 13 - 15, 2023

2023 年 10 月 13 日 (金)
14 日 (土)
15 日 (日)

千葉大学 教育学部
(千葉大学西千葉キャンパス)

〒263-8522 千葉市稲毛区弥生町 1-33
日本教育行政学会第 58 回大会実行委員会

大会日程

第1日:10月13日(金)		
12:30～	大会受付	教育学部1号館1階玄関
13:00～15:00	年報編集委員会	教育学部1号館3階1316
	国際交流委員会	教育学部1号館3階1317
	研究推進委員会	教育学部1号館3階1318
15:15～17:00	全国理事会	オンライン
17:00～19:00	若手ネットワーク企画	教育学部1号館3階1316+オンライン

第2日:10月14日(土)		
8:30～	大会受付	教育学部1号館1階玄関
9:00～11:50	自由研究発表Ⅰ-①	教育学部2号館1階2109
	自由研究発表Ⅰ-②	教育学部2号館2階2201
	自由研究発表Ⅰ-③	教育学部2号館2階2202
	自由研究発表Ⅰ-④	教育学部2号館2階2203
11:50～13:00	公開シンポジウム打ち合わせ	教育学部2号館2階2206
13:00～17:00	公開シンポジウム	教育学部大講義室+オンライン
17:15～18:00	総会	教育学部大講義室+オンライン
18:15～20:15	懇親会	千葉大学生協

第3日:10月15日(日)		
8:30～	大会受付	教育学部1号館1階玄関
9:00～11:50	自由研究発表Ⅱ-①	教育学部2号館1階2109
	自由研究発表Ⅱ-②	教育学部2号館2階2201
	自由研究発表Ⅱ-③	教育学部2号館2階2202
	自由研究発表Ⅱ-④	教育学部2号館2階2203
	自由研究発表Ⅱ-⑤	オンライン
11:50～13:00	課題研究Ⅰ打ち合わせ	教育学部2号館2階2206
13:00～16:00	課題研究Ⅰ	教育学部2号館2階2112

- 会員控室 A-1、A-2 教育学部2号館2階2207、2208教室 (Web会議可)
 ※会場において参加や接続の補助は一切行いません。
 会員控室 B 教育学部2号館2階2108教室 (Web会議不可)
 大会本部 教育学部2号館1階2111教室
 授乳スペース 教育学部1号館1階両立支援室・休憩室
 プレイルーム 教育学部2号館2107教室 (子ども向けフリースペース)

大会参加要領

1. 受付

受付は教育学部 1 号館 1 階玄関に設置します。10 月 13 日（金）12:30～、14 日（土）8:30～、15 日（日）8:30～です。

2. 大会参加費・懇親会費のお支払い方法について

大会参加費・懇親会費は表の通りです。

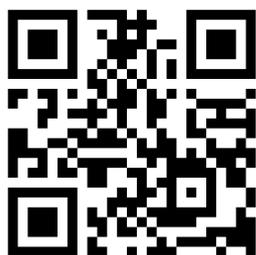
会員区分	大会参加費	懇親会費
一般会員・学生身分なし	5,000 円	4,000 円
一般会員・学振 PD/RPD	5,000 円	4,000 円
一般会員・学振 DC	無料	2,000 円
一般会員・有職者・学生身分あり	5,000 円	4,000 円
→うち、千葉県・千葉市教職員	無料	4,000 円
学生会員	無料	2,000 円
臨時会員・学生身分なし	5,000 円	4,000 円
臨時会員・学振 PD/RPD	5,000 円	4,000 円
臨時会員・学振 DC	無料	2,000 円
臨時会員・有職者・学生身分あり	5,000 円	4,000 円
→うち千葉県・千葉市教職員	無料	4,000 円
臨時会員・有職でない者・学生身分あり	無料	2,000 円
公開シンポジウムのみ	無料	—

※オンライン参加者はそれぞれの大会参加費に準じます。

※「臨時会員・学生」の大会参加費・懇親会費、大学院に在籍する「千葉県・千葉市教職員」の大会参加費が 7 月にお届けした大会案内から変更されています。本大会は千葉県教育委員会および千葉市教育委員会の後援をいただいていることから、千葉県・千葉市教職員の皆様で大学院に派遣中の皆様は大会参加費を免除いたします。

大会参加費・懇親会費は Peatix を利用した事前決済にご協力下さい。決済は以下のリンクまたは二次元バーコードからお支払い下さい。

<https://jeas58th.peatix.com/>



※事前決済にご協力いただいた対面参加者には、大会受付にて大会名札とともにオンライン決済ご利用の旨を記した領収書をお渡しします。オンラインのみの参加者は Peatix 上の領収データを印刷してご利用ください。

<https://help-attendee.peatix.com/ja-JP/support/solutions/articles/44001821741>

3. 昼食

3 日間とも昼食は各自でご用意いただくか、近隣の飲食店等をご利用ください。

4. 総会委任状について

総会を欠席される方は、委任状を10月6日(金)までに下記 form からご入力ください。
総会は簡易な形のオンライン併用で行う予定です。オンライン参加の方にも表決権がありますので、オンライン参加される方は委任状を提出できません。

<https://forms.gle/eL6Bh1MQDXnuHoeC9>

5. 開催方式について

本大会では、近年の大会運営方式と同様に、いずれのプログラムにおいても報告資料は Google ドライブで共有し、紙媒体の配布は行わない予定です。

また、自由研究発表は、会場での対面発表による会場部会とオンライン発表によるオンライン部会で実施します。オンライン部会(Ⅱ-⑤)は、ハイフレックスではなく、完全オンラインと致しますので、対面参加の会員におかれましても、同部会参加のためには、インターネットへの接続が必要です。

当日は、PC やタブレットをご準備頂くと共に、インターネットへの接続が必要となります。当日の会場では、eduroam が使用可能です。是非、同アカウントを取得・確認の上、ご参加下さい。なお、eduroam アカウントの取得には、所属機関での事前申請が必要です。また、発行されたアカウントには、利用期間が設定されていますので、この点にもご注意下さい。その他、目下、Wi-Fi のゲストアカウントをご用意できる予定ですが、各自、ルーター等のご用意等も頂くと、確実かと存じます。

なお、会場において参加や接続の補助は一切行いません。

6. 自由研究発表要領

○発表時間

個人研究発表・口頭報告者が1名の場合:発表 20 分、質疑 5 分(計 25 分)

共同研究発表・口頭報告者が複数の場合:発表 40 分、質疑 10 分(計 50 分)

※口頭報告者がお一人の共同研究発表も、発表 20 分、質疑 5 分(計 25 分)です。

○会場設備について

- ・プロジェクターをご利用いただけます。
- ・発表用 PC はご自分の端末をご用意下さい。
- ・プロジェクターへの接続端子は HDMI です。必要に応じてアダプター等をご用意下さい。
- ・分科会開始までに接続・投影のチェックをお願いします。

○発表者がやむを得ない事情により欠席する場合には、発表時間・発表順序の繰り上げは行わず、司会者の判断により、休憩または討議の時間にあてます。

7. 授乳スペース、プレイルーム(子ども向けフリースペース)の利用について

○授乳スペース

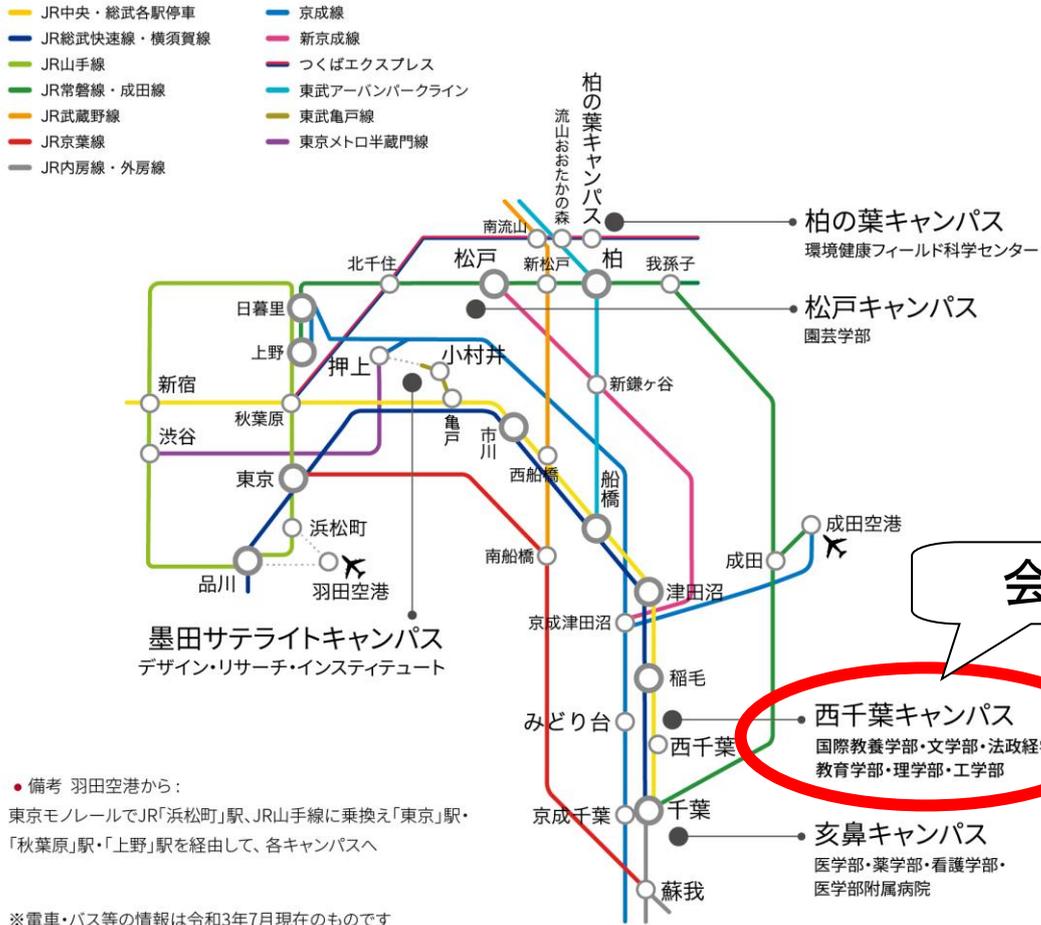
教育学部 1 号館 1 階両立支援室・休憩室をお使いいただけます。利用時以外は施錠いたしますので、ご利用の際は、大会本部、または受付にお申し出下さい。

○プレイルーム(子ども向けフリースペース)

教育学部 2 号館 2107 教室をお使いいただけます。施錠いたしませんので、お申し出なしにご利用いただけます。なお、大会期間中は、大会スタッフが巡回いたします。

おむつ替え台付きトイレが教育学部 1 号館 1 階、教育学部 2 号館 1 階にあります。位置は、大会会場建物配置図をご覧ください。

交通のご案内



会場： 千葉大学西千葉キャンパス

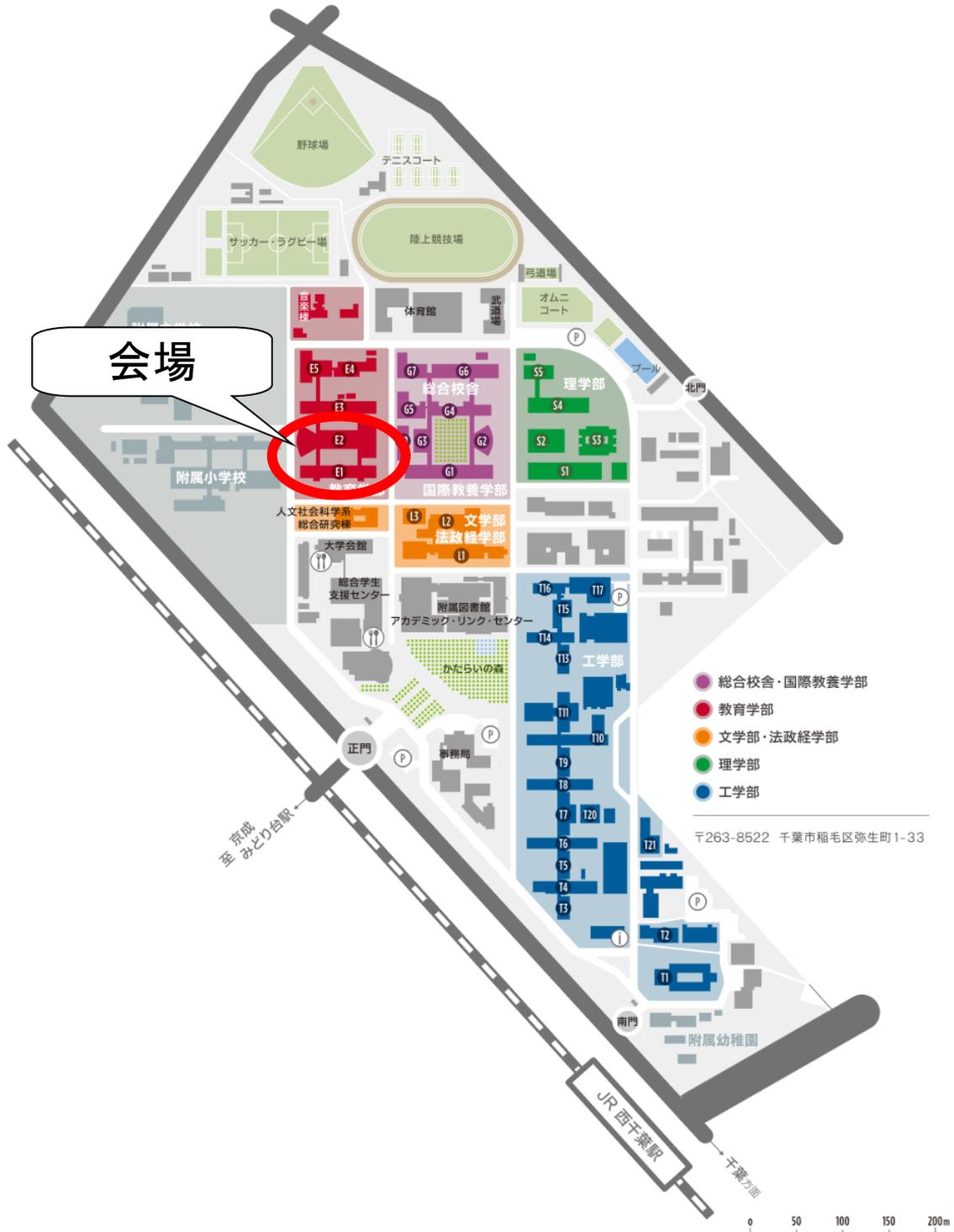
JR 総武線 西千葉駅 北口より徒歩2分（キャンパス南門）

京成千葉線 みどり台駅より徒歩7分（キャンパス正門）

※教育学部まではキャンパス南門から徒歩10分、キャンパス正門から徒歩5分です。

大会会場案内

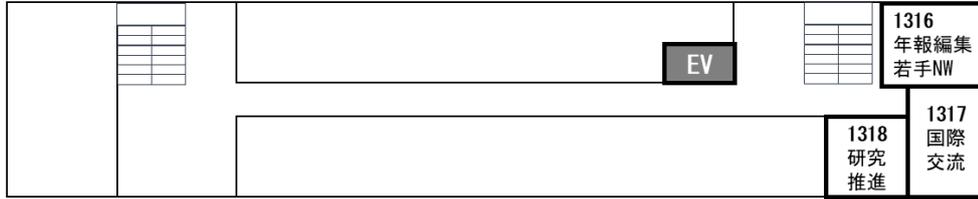
西千葉キャンパス



大会会場建物配置図

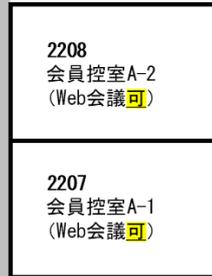
【3階】

1号館

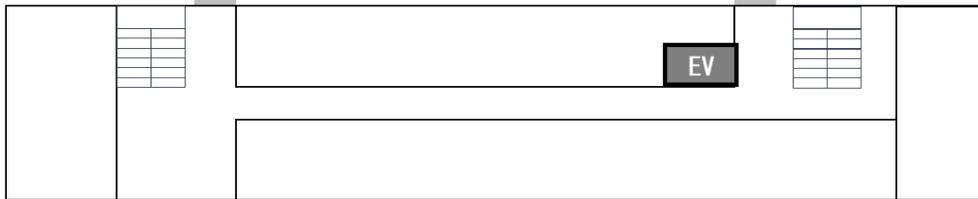


【2階】

2号館



1号館

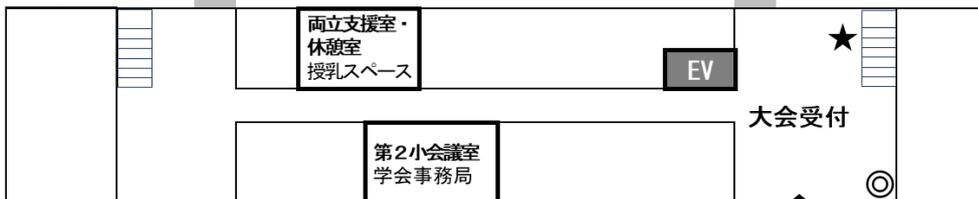


【1階】

2号館



1号館



★：おむつ替え台付きトイレ
◎：AED

↑
会場入り口

若手ネットワーク企画

若手ニーズ調査からみる日本教育行政学会のゆくえ

【概要】2023年7月に実施した若手会員ニーズ調査の集計報告をもとに、若手会員間の交流・対話・議論を通して、日本教育行政学会と若手会員の課題を析出します。対面参加者はワールドカフェ形式(※)、オンライン参加者はZoomのブレイクアウトルームとジャムボードを活用して同様の形式で実施します。

【日時】2023年10月13日(金) 17:00~19:00

【方法】ハイブリッド形式(対面/オンラインをお選び頂けます)

【対象】日本教育行政学会に関心のある若手研究者(以下1~3のいずれかに当てはまる方。非会員の方もご参加頂けます!)

1. 学部生または大学院生である
2. 年齢が40歳未満である
3. 単位取得満期退学後または博士学位取得後10年未満である

【参加申込】<https://forms.gle/GFi4GYArZCD19gdS7>

※当日参加も可能ですが、人数把握のため、なるべく事前お申込みへのご協力をお願いします(〆切:10月12日(木))。

(※)ワールドカフェ形式とは?

- ・第1ラウンド:参加者を4~5名ごとに分け、テーマについて模造紙にメモをしながら自由に話します。
- ・第2ラウンド:テーブルホスト(1名)以外は第1ラウンドとかぶらないように他テーブルへ移動します。テーブルホストは、そのテーブルで話し合われた内容を説明した後、同じテーマについて話し合いを続けます。
- ・第3ラウンド:最初のテーブルに戻り、移動先で話し合った内容や得た情報などとともに、意見やアイデアを出し合います。
- ・最後に、各テーブルで出たアイデアを全体で共有します。

【担当】篠原岳司(北海道大学)・阿内春生(横浜市立大学)・神林寿幸(明星大学)・前田麦穂(國學院大学)

自由研究発表 I - ①

【司会】武井 敦史(静岡大学)

篠原 岳司(北海道大学)

- 9:25~9:50 日本における通級指導の制度化に関する要因の検討と現在の課題
—特殊教育への医学心理学の採用と統合教育を目指す力学への対案と
いう両義性から—
浜 えりか (名古屋大学大学院・院生)
- 9:50~10:15 STEAM 教育を軸としたカリキュラム・マネジメントの展開に向けた運用
上の課題
○ 開沼 太郎 (京都大学)
服部 憲児 (京都大学)
宮村 裕子 (畿央大学)
- 10:15~10:40 国立大学事務職員のパブリック・サービス・モチベーション
渡辺 恵子 (武蔵野大学)
- 10:40~11:30 校長のリーダーシップを支える社会ネットワークに関する調査研究
—質問紙調査結果の基礎的分析—
○ 浜田 博文 (筑波大学)
○ 諏訪 英広 (川崎医療福祉大学)
○ 朝倉 雅史 (筑波大学)
○ 川上 泰彦 (兵庫教育大学)
○ 高野 貴大 (茨城大学)
安藤 知子 (上越教育大学)
織田 泰幸 (三重大学)
加藤 崇英 (茨城大学)
木下 豪 (独立行政法人教職員支援機構)
吉田 尚史 (山形大学)
- 11:30~11:50 全体討議

自由研究発表 I - ②

【司会】 荻原 克男 (北海学園大学)

廣谷 貴明 (国立教育政策研究所)

- 9:00～9:25 地方分権教育改革における総額裁量制の運用実態
山崎 洋介 (大阪大学大学院・院生)
- 9:25～9:50 教育委員会から見た義務教育学校の現状と評価
○ 宮崎 悟 (国立教育政策研究所)
- 9:50～10:15 政令指定都市議員の教育政策形成と政党組織
○ 阿内 春生 (横浜市立大学)
長野 基 (東京都立大学)
- 10:15～10:40 子ども・子育て支援新制度施行後の地方教育行政の変容
三浦 佑斗 (東京大学大学院・院生)
- 10:40～11:05 義務教育段階における不登校児童生徒の教育機会保障に関する研究
一公立不登校特例校の設置過程に着目して一
俵 龍太郎 (広島大学大学院・院生)
- 11:05～11:30 佐賀県武雄市官民一体型学校におけるネットワーク型ガバナンスへの
契機と課題
鈴木 繁聡 (名古屋大学)
- 11:30～11:50 全体討議

自由研究発表 I - ③

【司会】柳林 信彦 (高知大学)
福島 正行 (盛岡大学)

- 9:00~9:25 都道府県教育長ポストの人事慣行
-1948年から2022年までの全955名の経歴に着目して-
毛塚 勝良 (東北大学大学院・院生)
- 9:25~9:50 住民が「地域を支える人材」となり得る要因の分析
-舞鶴市を対象とした調査をもとに-
江上 直樹 (大阪大谷大学)
- 9:50~10:15 高知市型コミュニティ・スクールの実現に向けた実践と課題
~高知市教育委員会と首長部局の連携・協働を基盤に~
○ 野村ゆかり (一般社団法人もうひとつの大きな
家族)
押田 貴久 (兵庫教育大学)
- 10:15~10:40 学校選択と予算制度
石垣 智宏 (姫路市立余部小学校)
- 10:40~11:05 「非通学」による高校教育機会保障の現状と課題
:公立狭域通信制高校を事例として
川本吉太郎 (広島大学大学院・院生)
- 11:05~11:30 学習者の主体性を醸成する生涯学習プラットフォーム構築
:「サマーセミナー2023」実施報告
佐藤 智子 (東北大学)
- 11:30~11:50 全体討議

自由研究発表 I - ④

【司会】清田 夏代 (実践女子大学)
小島 優貴 (獨協大学)

- 9:25～10:15 人口減少社会における学校と地域
ー教育エコシステム構築を目指す韓国マウル教育共同体づくりに着目して
- 尾崎 公子 (兵庫県立大学)
 - 肥後 耕生 (豊岡短期大学)
 - 名達 和俊 (紋別市教育委員会)
- 10:15～10:40 ロシア連邦教育行政の今日的状況
ーロシア教育アカデミーの位置づけの変容を中心にー
黒木 貴人 (福山平成大学)
- 10:40～11:05 小規模学校を支える教育制度と条件整備の在り方
植田みどり (国立教育政策研究所)
- 11:05～11:30 イギリスの学校主導型システムにおける学校改善支援の研究
青木 研作 (東京成徳大学)
- 11:30～11:50 全体討議

公開シンポジウム

公教育保障の外延を見極める

千葉大学教育学部・千葉県教育委員会・千葉市教育委員会 後援

登壇者

- 後藤 武敏 会員 (東北大学大学院教育学研究科・准教授)
今村 久美 氏 (認定NPO法人カタリバ・代表理事)
山崎 二郎 氏 (千葉市立真砂中学校 / 市立夜間中学かがやき分校・校長)

コーディネーター

- 貞広 齋子 (千葉大学教育学部・教授
/ 日本教育行政学会第58回大会実行委員長)

趣 旨

我が国の初等中等教育は、同時期に空間を共有し、同じ方法で教育を行う学年制を前提とすることで、全体の底上げに貢献してきた歴史を持ちます。加えて、教育義務が「就学義務」として果たされることで、学校教育法で定められた学校(一条校)で、対面・集団の中で学ぶことも重要視されてきました。しかし現在、何らかの理由で就学、つまり学校に通わない・通えない小・中学校の不登校児童生徒の数は24万人を超えています。この数は、例外的に学校に馴染めない子どもがいるというレベルを超えているだけではありません。むしろ、現在の学校システムに、システム自体の歪み、社会や生育プロセスとのミスマッチが存在することを示しているともいえます。そこで、本シンポジウムでは、一条校外のグラデーションを伴う教育の質保証を実現するため、どこまでの多様な教育ニーズに回答して保障しうるのか、するべきなのか、外延を拡げた場合、どのような質保証のシステムが想定されるのか等について、研究者や公立セクターの実務家のみならず、NPO等の私的セクターの担い手の知見も含めて、幅広く議論します。



※公開シンポジウムはオンラインでも同時配信いたします。会員に限らず、どなたでもご参加いただけます。オンラインでの参加をご希望の場合は、会員の方も、URLまたは二次元バーコードから参加登録をお願いいたします。会場にて参加される方は、非会員を含め登録の必要はありません。※オンラインでの参加はウェビナーの契約上、500名に制限されます。人数制限により、会員であっても、オンライン会場にお入りいただけない場合がございますので、あらかじめご了承ください。

https://us06web.zoom.us/webinar/register/WN_BOPLA1NLTeWiOf0-nH5Hvg

総会

10月14日(土) 17:15~18:00

教育学部大講義室
(オンライン配信併用)

懇親会

10月14日(土) 18:15~20:15

千葉大学生協

自由研究発表Ⅱ-①

【司会】照屋 翔大 (沖縄国際大学)

太田 知実 (聖隷クリストファー大学)

- 9:00～9:25 米国における子育て支援のアウトリーチ
新谷龍太郎 (同志社女子大学)
- 9:25～9:50 米国公立学校における公正性(equity)を中核とした学校ガバナンス改革
—ワシントン州シアトル学区の「人種的公正チーム」施策を事例として—
高野 貴大 (茨城大学)
- 9:50～10:15 現代米国におけるインクルーシブ教育と「共通スタンダードテストに基づく教育改革」との相互矛盾と対応過程
松田 華織 (神戸大学大学院・院生)
- 10:15～10:40 教育の地方分権化が進むカナダにおける学童プログラムに関する研究
—州政府と教育委員会の関係に着目して—
関根 未来 (立教大学大学院・院生)
- 10:40～11:30 Education For All をめぐるグローバル・ガバナンスと各国教育政策の関係
○ 小早川倫美 (島根大学)
○ 黒木 貴人 (福山平成大学)
○ 張 磊 (大連大学)
LKHAGVA (モンゴル国立教育大学)
Ariunjargal
- 11:30～11:50 全体討議

自由研究発表Ⅱ－②

【司会】井本 佳宏(東北大学)
金川舞貴子(岡山大学)

- 9:25～10:15 グローバル時代における校長のリーダーシップ研究に関する考察
—International Successful School Principalship Project に焦点を
当てて—
- 佐藤 博志 (筑波大学)
 - 柏木 智子 (立命館大学)
 - 西野 倫世 (大阪産業大学)
 - 小野まどか (植草学園大学)
- 10:15～10:40 ドイツ大学改革における大学の自治をめぐる制度的論点
—ノルトライン・ヴェストファーレン州大学自由法の立法過程分析を通
じて—
- 横山 岳紀 (名古屋大学大学院・院生/日本学術
振興会特別研究員)
- 10:40～11:05 16. Kinder- und Jugendbericht に見るドイツ民主主義教育の現状と課
題
- 柳澤 良明 (香川大学)
- 11:05～11:30 ドイツ高等教育の量的拡大政策
- 坂野 慎二 (玉川大学)
- 11:30～11:50 全体討議

10月15日(日)

9:25～11:50

教育学部2号館2階2202教室

自由研究発表Ⅱ－③

【司会】平井貴美代(山梨大学)

前田 麦穂(國學院大学)

- 9:25～9:50 師範学校附属学校を媒介とする教師ソーシャル・キャピタル
～及川平治と小林佐源治
本図 愛実 (宮城教育大学)
- 9:50～10:15 戦後教員養成改革と「大学における教員養成」の再検討
—— 幼稚園教員免許制度の考察から
高橋 寛人 (石巻専修大学)
- 10:15～10:40 義務標準法制定前史における教職員配置基準に関する検討状況
:教職員組合による調査検討に着目して
大沼 春子 (北海道大学大学院・院生)
- 10:40～11:05 「能研テスト」はどのように構想されたのか
—中央教育審議会の審議内容の検討に基づく考察—
中村 恵佑 (弘前大学)
- 11:05～11:30 臨時教育審議会設置法の成立過程に関する研究
長嶺 宏作 (埼玉大学)
- 11:30～11:50 全体討議

自由研究発表Ⅱ-⑤

【司会】横井 敏郎(北海道大学)
荒井英治郎(信州大学)

- 9:25～9:50 教員採用年度と勤務環境・職能の変化について
○ 妹尾 渉 (国立教育政策研究所)
川上 泰彦 (兵庫教育大学)
- 9:50～10:15 大阪府の高校完全無償化政策
一課題と展望
末富 芳 (日本大学)
- 10:15～10:40 高等教育における経済的負担軽減及び学修支援に係る法・制度・行財政
の日韓比較研究(3)
:日韓/韓日対話企画の成果及び課題
渡部 昭男 (大阪成蹊大学)
- 10:40～11:05 学校教育情報化政策の実態と教育委員会事務局の自律的統制
田中 友理 (大阪教育大学大学院・院生)
- 11:05～11:30 地域学カリキュラム開発支援をめぐる一考察
押田 貴久 (兵庫教育大学)
- 11:30～11:50 全体討議

※Ⅱ-⑤分科会はオンラインのみです。ご自身の端末にてご参加ください。会場にお越しの方は、Web会議可の会員控室 A-1、A-2(2207、2208 教室)と Wi-Fi のゲストアカウントをご利用いただけます。会場において参加や接続の補助は一切行いません。

課題研究 I**教育行政の専門性・固有性の解体と変容
—官邸主導改革と教育行政(仮)—**

報 告

谷口 聡 (中央学院大学、課題研究推進委員)

磯田 文雄 (花園大学)

勝野 正章 (東京大学、日本教育行政学会会長)

司 会

宮澤 孝子 (宮城教育大学、課題研究推進委員)

石井 拓児 (名古屋大学、課題研究推進委員会委員長)

新たに発足しました第20期課題研究推進委員会では、課題研究Iとして、3年間を貫いて追及する研究テーマ「教育行政の専門性・固有性の解体と変容」を設定しています。前期第19期課題研究推進委員会の研究課題「教育行政学における基礎概念および重要命題の継承と発展」において積み上げられた研究蓄積を引き継ぎつつ、こども家庭庁の設置や近年の内閣府・官邸主導の教育改革といった教育行政をめぐる激動の情勢を的確にとらえ、当面する理論課題・研究課題に学会全体で取り組むことができるようテーマを設定しています。

初年度となる今年は、「官邸主導改革と教育行政(仮)」をテーマに設定し、①現代日本の教育政策における他省庁の影響力とその構造をどうとらえるか、②中央教育行政の構造変容をいかにとらえ、どう評価するか、③一般行政ならびに教育行政の原理・原則(分担管理原則と教育行政の一般行政からの独立性)とは何か、といった論点を用意しています。

協賛出版社・法人
(順不同)

明石書店	エイデル研究所
風間書房	教育開発研究所
晃洋書房	昭和堂
世織書房	

足元からの学校の安全保障

無償化・学校環境・学力・インクルーシブ教育

中村文夫 編著

◎2750円

アマルティア・センや国連が提唱する「人間の安全保障」の考え方を援用し、あるべき「学校の安全保障」について論ずる。

[完全版]大恐慌の子どもたち

社会変動とライフコース

グレン・H・エルダー、Jr. 著 川浦康至 監訳

◎6380円

ライフコース研究の金字塔。20世紀初頭アメリカの大恐慌時代を子どもたちがどう生き、その後どう成長したかを追尾した労作。

ガイドブック あつまれ!

みんなで取り組む教育相談

ケース理解×チームづくり×スキルアップ

益子洋人、平野直己 編著

◎2750円

「チーム学校」では、どの仲間(職種)とチームを組むのが有効なのかを検討できる能力を「RPG」の冒険に喩えて分かりやすく説明する。

子どもアドボカシー

つながり・声・リソースをつくるインケアユースの物語

畑千鶴乃、菊池幸工、藤野謙一 著

◎2420円

子どもアドボカシーの基準は、子ども自身にどのようなインパクトを与え、行動変容が生まれるかにある。具体的な方法論を紹介する。

ペアレント・ネイション

親と保育者だけに子育てを押しつけない社会のつくり方

ダナ・サスキンド、リディア・デンワース 著

◎1980円

親と保育者みんなにできる、赤ちゃんの脳のつくり方から、子どもと保護者にやさしい社会のデザインへの道筋を描くエッセイ集。

一斉休校 そのとき教育委員会・学校はどう動いたか?

末富芳 編著

◎2530円

2020年2月、全国一斉休校。パンデミック下で教育現場では何が起き、各自治体がどのような対応を行ったかを記録・分析する。



シリーズ

子ども若者の権利と政策【全5巻】

「子ども若者の権利」を根源から考え、それを着実に「政策」につなぐ、議論をはじめめるためのシリーズ!

2023年10月 刊行開始
A5判/並製/子256頁
◎各巻 定価 2,970円
(本体価格2,700円+税)

シリーズ監修

末富 芳

(すえとみ・かおり)

日本大学文理学部教育学科教授。専門は教育行政学、教育財政学。

秋田 喜代美

(あきた・きよみ)

学習院大学文学部教育学科教授。専門は保育学、教育心理学、授業研究。

宮本 みち子

(みやもと・みちこ)

放送大学・千葉大学名誉教授。専門は家族社会学、若者の社会学。

●シリーズ概要

本シリーズは、子ども若者自身の権利を尊重した実践、子ども政策、若者政策をどのように進めるべきか、いま(現在)の状況を整理するとともに、これから(今後)の取り組みの充実を展望することを目的とする。

子ども若者の権利、こども基本法に込められた理念や願い、それらを子ども若者どどのように実現していくか、当事者、実践者、研究者や政治・行政のアクターによる論議をまじえることで、日々の実践の中にあっても、子ども若者や関わる大人たちが「共通のビジョン」を持ちながら進んでいくための、手がかりとなれば幸いである。

保育・教育・福祉や司法、医療等の分野で子ども若者とかかわる大人たち、子ども若者自身など、子ども若者の権利をこの国・社会において実現するために、ともに道を進んでくださる方々に届くことが、編者一同の願いである。(巻頭言より)

●全5巻の構成

① 子ども若者の権利とこども基本法

末富芳 [編著]

2023年10月刊行予定

② 子ども若者の権利と子どもの育ち

秋田喜代美 [編著]

2024年2月刊行予定

③ 子ども若者の権利と学び・学校

末富芳 [編著]

2024年2月刊行予定

④ 若者の権利と若者政策

宮本みち子 [編著]

2023年10月刊行予定

⑤ 子ども若者政策の構想と展望

末富芳 [編著]

2024年2月刊行予定

●本シリーズの特徴

□こども基本法成立、こども家庭庁の発足後、初となる子どもの権利、若者の権利と政策に関する専門書。

□監修者は、乳幼児期、学齢期、若者期を中心とした社会科学の研究者として理論・実証両面での研究を蓄積するとともに、子ども若者に関する法政策の最前線で活躍。

□執筆者は、子ども権利・若者の権利を基盤とし、丁寧な実践を拓いてきた若者や実践者・支援者、子ども若者の権利の実現に挑戦してきた政治家や国・自治体の関係者、法曹家によって構成。

□これまで脆弱であって若者政策を含む、乳幼児期・学齢期から若者期に至るまで、「全ての子ども」の権利と最善の利益の実現を視野に入れた巻構成。



明石書店 〒101-0021 東京都千代田区外神田6-9-5

TEL 03-5818-1171 FAX 03-5818-1174

*図書目録送呈 *価格税込 <https://www.akashi.co.jp/>

子どもの学ぶ権利と多様な学び

誰もが安心して学べる社会へ

目次

第1部 子どもの学ぶ権利の行使と多様な学びのこれから

第1章 子どもの学ぶ権利と学校外の多様な学びの展望
普通教育機会確保法制定の意義をふまえて
第2章 オルタナティブ教育の意義 子どもの権利の視点から
第3章 子どもの学ぶ権利行使とオルタナティブスクールの展開
韓国、台湾の事例に学ぶ

第2部 子どもの安心して学ぶ権利

安心して相談する権利の行使と体罰・暴力の問題

第1章 子どもの「安心して相談する権利」の保障と課題
体罰等の実態・意識調査から見えてきたもの
第2章 子どもの権利救済につなぐ相談の特徴と課題
せたホットの相談 調査専門員の立場から
第3章 スクールソーシャルワーカーと子ども相談
守秘義務と参加の権利に着目して

終章 子どもの権利条約と日本の学校の行く末

資料編



定価2,750円
(本体2,500円+税10%)

ISBN: 9784871686457

【特集1】部活動の地域移行
【特集2】どうなる、日本の大学

214号 非正規教員増加による、学校現場への影響を問う

215号 「生徒指導提要」(改訂版)をどう読み、活用するか

216号 【特集1】インクルーシブ教育の現状と課題
【特集2】国の予算と教育費無償

217号

特集2 東京都の中3英語スピーキングテスト

特集1 教育の法化・PDCAサイクルと学校

218号 2023年9月発売最新号!!

季刊教育法

● B5判
● 本体1,905円+税
● 3・6・9・12月25日発行

エイデル研究所

〒102-0073 東京都千代田区九段北4-1-9 TEL.03-3234-4641 FAX.03-3234-4644

教育学関係学術図書のご案内

価格は税込。

1958年小学校学習指導要領の改訂過程

澤田俊也著

予価9900円

日本学術振興会の設立に関する研究

山中千尋著

11000円

子どもの権利をまもるスクールロイヤー

松原信継・間宮静香・伊藤健治編著

2750円

近森一重の音楽教育理論の研究

島田郁子著

8800円

アメリカ教育長職の役割と職能開発

八尾坂修編著

3300円

現代キャリア教育システムの日仏比較研究

京免徹雄著

8250円

海軍飛行予科練習生の研究

白岩伸也著

7700円

米国社会科成り立期におけるシティズンシップ教育の変容

斉藤仁一朗著

9900円

地方学力テストの歴史—47都道府県の戦後史—

北野秋男著

7700円

日米のテスト戦略—ハイス・テイクス・テスト導入の経緯と実態—

北野秋男著

2200円

近現代日本教員史研究

船寄俊雄・近現代日本教員史研究会編著

4950円

コミュニティ・スクールの全貌

佐藤晴雄編著

4400円

評伝 成瀬仁蔵—女子高等教育から「社会改良」へ—

片桐芳雄著 (発行: 日本女子大学 発売: 風間書房)

4950円

義務教育段階における学習権保障法制の変容に関する研究

牛 玄著

5500円

ウイネトカ・プランにおける教職大学院の成立過程

宮野 尚著

8250円

現代米国の教員団体と教育労働法制改革

高橋 哲著

8800円

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町1-34
TEL 03-3291-5729 FAX 03-3291-5757

風間書房

(URL) <https://www.kazamashobo.co.jp>
メールアドレス pub@kazamashobo.co.jp

子どもの未来をつくる人のための デジタル・シティズンシップ・ ガイドブック for スクール

著者 | マイク・リブル&マーティ・パーク

訳者 | 日本デジタル・シティズンシップ教育研究会 / 豊福晋平

これからの時代に求められる、デジタル・シティズンシップへの理解と具体的な教育内容を解説。デジタル世界を生きる子どもの未来をつくるすべての人に、ぜひ読んでいただきたい1冊です！

本書の内容

Part I 全体の構想を描く

はじめに: 情報倫理とデジタル・シティズンシップ
— その似て非なるもの

第1章 それはシティズンシップではないのか?
なぜデジタルが必要なのか?

第2章 新しい9要素とS3フレームワーク

第3章 デジタル・シティズンシップ・プログラムの計画

第4章 デジタル・シティズンシップ・施策ガイド

Part II 教室におけるデジタル・シティズンシップ

第5章 ポジティブなつながりを創る: 管理職のためのガイド

第6章 テクノロジー使用のコンセプトを理解する:
教育者のためのガイド

第7章 児童生徒の声は4つの椅子を回転させる

第8章 テクノロジー利用のための基礎固め (小学校)

第9章 中学校段階におけるスキルの強化

第10章 高等学校段階におけるデジタル・シティズンシップの
考え方の統合

Part III 初中等教育を超えた思考とアイデア

第11章 デジタル世界での保護者を支える

第12章 教員・指導者養成におけるデジタル・シティズンシップ

第13章 教育コミュニティを超えて:
ビジネスやプロフェッショナルライフにおける
デジタル・シティズンシップ

第14章 デジタル・シティズンシップの国際的な拡がり

第15章 デジタル・シティズンシップの次なる展開は?

デジタルライフと
リアルライフを
生きる力を子どもに育む



A5判 / 312頁 / 定価2,970円 (本体2,700円 + 税10%)



教育開発研究所

東京都文京区本郷2-15-13
TEL: 03-3815-7041

小社は送料無料・即日発送!
オンラインショップは早くてカンタン



子どもの思考を深める ICT 活用

公立義務教育学校のネクストステージ

柏木 智子・姫路市立豊富小中学校 編著
128頁・2,420円

ICTは、多様な子どもたちをつなぐツールである!!
ICT活用による子どもの学びの変容過程を描き出す。
見開き2ページ、カラーで事例を紹介!!



ポップカルチャーの教育思想

アカデミック・ファンが読み解く現代社会

渡辺 哲男 編著
192頁・2,530円

さまざまな「推し」をもつ研究者(アカデミック・ファン)が、マンガ、コミケなどの「ポップカルチャー」を通して浮かび上がってくる現代社会のありようや人間観を読み解く。



学ぶ権利と学習する権利

人格主義の国民教育権論

中谷 彪 著
186頁・2,640円

「学習する権利」か「学習をする権利」か。
「学ぶ権利」から「人格の完成」へと接近する人格主義の国民の教育権論を提唱する。



戦後日本の教員採用

試験はなぜ始まり普及したのか

前田 麦穂 著
192頁・4,180円

教員採用の過去を知らずに、未来を語れるのか?
終わりなき「教員採用試験」改革を超えるために。
教員免許更新制度の見直しなど、教員採用制度改革の議論のためにも必読の書。



不登校の子どもとフリースクール

持続可能な居場所づくりのために

武井 哲郎・矢野 良晃・橋本 あかね 編著
156頁・2,200円

民間フリースクールが子どもの最善の利益を守りながら運営を続けるためには? 事業継続のための葛藤と格闘、現場の苦悩や失敗に学ぶ。



〈教師の人生〉と向き合う ジェンダー教育実践

寺町 晋哉 著
214頁・2,750円

教師は、その役割と葛藤したり、ジェンダーをめぐる教育課題を変革する実践との関係で困難が生じたりする。
ジェンダー平等な学校をつくるために、ジェンダーから影響を受けて人生を歩んできた教師たちができることとは何か。



晃洋書房

〒615-0026 京都市右京区西院北矢掛町7番地

TEL 075-312-0788 / FAX 075-312-7447

※価格は税込

2023年10月刊

教育法規

スタートアップ・ネクスト Ver. 2.0

Crossmedia Edition

高見茂・開沼太郎・宮村裕子 編 好評テキストの最新版では、WEBとの連携をさらに強化。QRコードから関連資料や動画が閲覧可能。教員採用試験対策に最適。

2530円

好評既刊

教育行政学「改訂版」

教育ガバナンスの未来図

小松茂久 編 学校も国境も越えて教育のあり方が問われる時代、行政はもろろん、保護者や地域住民も協働しての舵取りが求められている。従来の教育行政の枠組みを広げた新しいタイプのテキスト。

2530円

教育のアイデア「改訂版」

教職・保育士を志す人のために

武安宥 監/塩見剛一・成山文夫・西本望・光成研一郎 編 教職課程を履修する学生のためのテキスト。〈新学習指導要領〉対応の改訂版。教育原理・教育課程・教育方法・教職概が学びやすいよう配慮した。

2530円

教師を目指す人のための カウンセリング・マインド

カウンセリング・マインド

前林清和 編 教師を目指す人が、カウンセリングマインドを身につけ、教育カウンセリングの基礎を学ぶためのテキスト。

2090円

シユタイナー教育100年

80カ国の人々を魅了する教育の宝庫

広瀬俊雄・遠藤孝夫・池内耕作・広瀬綾子 編 IT産業の聖地、シリコンバレーでシユタイナー学校へ通う子どもが増えている。AI時代へ突き進む時代の中で何が起きているのか。

2750円

コロナ禍を生きる大学生

留学中のパンデミック経験を語り合う

北野真帆・内藤直樹 編 留学中に、コロナが来た。その試行錯誤IIパンデミックのノイズを、人類学者である教員らも巻き込んで共に振り返り、その意味を考える。

2750円

テキストと映像がひらく教育学

倉石一郎 著 教師・子ども・学校システムなど教育学上の問題を、その主題に沿ったテキストや映画を味わいながら、それを手がかりに深く考察する。

3080円

〒607-8494 京都市山科区日ノ岡堤谷町3-1
TEL 075-502-7500 FAX 075-502-7501

図書出版 昭和堂

info@showado-kyoto.jp 〈価格 10% 税込〉
http://www.showado-kyoto.jp

＊最新刊 教育学年報14号

公教育を問い直す

《学校の公共的使命、人材育成にとまらない「教育」といふ當の価値、教職の専門性》
《「公教育」にかかわる問いと課題に鋭く迫る》

編集委員 佐久間亜紀・石井英真・丸山英樹・青木栄一・仁平典宏・濱中淳子・下司晶 4,600円

前原健二

《教員の働き方、学校の運営、学校制度の構成——三つの位相において戦後ドイツの教育はどこに課題を抱え、改革を進めてきたか。改革過程を教育制度の理論として描く》

現代ドイツの教育改革

◎ 学校制度改革と「教育の理念」の社会的正統性

矢野智司・井谷信彦 編

《教育とは、時代批判的な歴史的世界の創造的行為——近代教育の思考法を問いなおし、課題に応答する教育的思考の新たな形を構築する試み》

教育の世界が開かれるとき

◎ 何が教育学的思考を発動させるのか

広瀬裕子 編

《戦後の教育と教育学を包括的にマッピングできるグラント・セオリーはどこに？ 変容しながら増殖する近代教育を掴まえる》

カリキュラム・学校・統治の理論

◎ ポスト・グローバル化時代の教育の枠組み

劉麗鳳

《中国農村部の子どもたちはなぜ学校を中退するのか。《急激な経済成長》《都市と農村間格差の拡大》《三元化社会、賤農主義・三農問題》——学校教育の可能性を考えよう》

中学中退

◎ 中国農村中学校の生徒と教師のエスノグラフィー

教育学年報「第三期」

since 1992

「11号」教育研究の新章

編集委員 下司晶・丸山英樹・青木栄一・濱中淳子・仁平典宏・石井英真・若下誠 5,000円

「12号」国家

編集委員 青木栄一・丸山英樹・下司晶・濱中淳子・仁平典宏・石井英真 3,400円

「13号」情報技術・AIと教育

編集委員 石井英真・仁平典宏・濱中淳子・青木栄一・丸山英樹・下司晶 3,600円

福元真由美

都市に誕生した保育の系譜

◎ アンジー・エーションズと郊外のユートピア 3,500円

石戸典嗣

現代教育のシステム論

◎ ルーマンの構図 2,300円

変容する世界と日本のオルタナティブ教育

◎ 永田佳之 編 5,800円

高宮正貴

J・Sミルの教育思想

◎ 自由と平等はいかに両立するのか 3,000円

林潤平

自然愛をめぐる教育の近代日本

◎ 自然観の創出と変容の一系譜 3,500円

教育勅語と学校教育

◎ 日本教育学会教育勅語問題ワーキンググループ 編 2,400円



世織書房

〒220-0042 横浜市西区戸部町7-240 文教堂ビル3階 TEL045-317-3176 / FAX045-319-0644
seori@nifty.com http://seorishobo.com (税抜)

日本教育行政学会第 58 回大会プログラム

2023 年 9 月 8 日発行

発行者 日本教育行政学会第 58 回大会実行委員会

委員長	貞広 齋子	(千葉大学)
委員	阿内 春生	(横浜市立大学)
	梅澤 希恵	(国立教育政策研究所)
	小野まどか	(植草学園大学)
	木村 康彦	(千葉大学)
	櫻井 直輝	(放送大学)
	白川 優治	(千葉大学)
	丹間 康仁	(千葉大学)

実行委員会事務局

〒263-8522 千葉市稲毛区弥生町 1-33

日本教育行政学会第 58 回大会実行委員会 (千葉大学教育学部 貞広齋子)

Email: jeas58@ml.chiba-u.jp (大会専用)
